

2016年度第2回 NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2016年6月9日（木） 午後6時30分から午後9時
- 2 場 所：国分寺労政会館 第2会議室（3階）（国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、平山恵三、堀渡、矢崎省三
欠席者：清田義昭、手嶋孝典
事務局：

4 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2016年6月1日現在 正会員91名3団体 賛助会員40名1団体 計135名・団体。
5月29日の総会記念講演会の後に講演会参加者が1名正会員になられて、この会員数となった。

(2) 第2号議案 総会と総会記念講演会について【報告】

- ・5月29日（日） 国分寺労政会館 第1会議室（地下）
・2016年度通常総会 午後2時～3時5分

出席：60名 内訳 本人出席：17名（うち1名は第4号議案の決議終了時点で退席）
委任状出席：43名

（傍聴者あり…賛助会員1名、会員外2名）

各議案とも満場一致で可決承認された。

議事終了後、座間理事長から（株）カーリルと共同開発した検索システムの正式名を、
「多摩地域公共図書館蔵書確認システム」略称：TAMALAS（タマラス）（英語名：Tama last
1・2 books check system for public libraries）と決定したことを発表。

（※なお英語名については、その後現在検討中として、正式決定には及んでいない）

- ・総会記念講演会 午後3時20分～4時50分

講演者 國松完二氏（滋賀県立図書館長）

演題 「県立と市町立図書館の協力による共同保存の実践」

参加者 23名（講師含）

滋賀県で市町立図書館と共同で十数年かけて作り上げてきた「資料保存センター」とい
う「共同保存図書館」の実践の経過を、強ばらずとても率直に話してもらえた。

「資料保存センター」があることの効果や、具体的な共同作業の様子・継続することの
課題等がわかった。

- ・懇親会 午後5時～7時30分 中華食堂「あひるのたまご」 参加者 16名

(3) 第3号議案 納税と関係諸官庁への手続きについて【報告】

- ・確定申告・納税（武蔵府中税務署） 5/18 終了
- ・納税（立川都税事務所と調布市） 5/19 終了
- ・登記所へ資産の変更届（東京法務局府中支局） 5/26 終了
- ・事業報告・会計報告、定款変更手続き（東京都生活文化局） 6/8 終了

(4) 第4号議案 （株）カーリルとの共同研究について【報告】

- ・開発した蔵書確認システムの名称を確定し、総会で発表した。

<共同研究の今後の予定>

TAMALAS を実際に図書館の除籍作業で使う実証実験を行ない、その後同日に 6 月定例会を行う。

・実証実験 日時 6 月 17 日 (金) 午後 3 時～5 時

場所 調布市立図書館 深大寺分館

※6 月 10 日に当該館で除架した本を 17 日午後には仮除籍とする作業を組み、その作業に TAMALAS の使用を組み込む。理事・事務局で出席可能な者はこの作業に参加し、立ち会うこと

- ・通常は、除架→除籍候補フラグ→除籍のための再チェック→仮除籍→館長決裁→除籍 という作業の流れとなる。
- ・この仮除籍する段階で、調布市立図書館で残り 0 冊となる資料のうち、資料として保存できそうなもの (汚破損がないもの) を TAMALAS を使ってチェックする流れ。
- ・定例会は、同日の午後 6 時～ 調布市たづくり 301 号室。

・次には館長会で、業務上で各図書館から職員を集める説明会を開催することも期待しているが、多摩デポとして地域毎に図書館職員への説明会を実施する必要があるかもしれない。館長会とは無理にコラボを諮らずとも、館長会三役に「多摩デポの方で説明会を開催していきます」と連絡した上で、始めていく方向で確認した。

・西東京市図書館から、同市の除籍候補資料 7,244 件についての他市所蔵の検索調査の依頼あり。うち 10 桁の ISBN を持つ本は 5207 件、13 桁の ISBN を持つ本は 1,017 件である。これらのデータは 5 月定例会時に CSV でカーリルに送られ、現在、カーリルで一括処理中である。また、他に ISBN のない蔵書が 1,020 件あり、この資料の他市所蔵の検索調査も依頼された。

→ISBN のない資料の検索作業をするボランティアの募集が必要となる。(締め切り等の詳細がまだ伝わっておらず、6 月定例会の議題になる)。

・TAMALAS の速さは認知されたが、さらに正確さの検証・修正を重ねたい (ISBN の 10 ケタと 13 ケタ問題、各図書館のシステムが非稼働時の注意喚起の問題、各館のシステムとの相性の問題等)。

・共同研究は引き続き ISBN の付与されていない蔵書の検索・同定方法の開発に取り組んでいく。(カーリルは多摩デポとの研究を元に、「京都府立図書館の横断検索システム」を 3 月に発表し注目を浴びているようだ → 今までの横断検索システムよりずっと高速化できているが、当然 ISBN が付与されていない府内図書館蔵書の検索にも対応している)

(5) 第 5 号議案 多摩デポ講座の企画について【報告・協議】

1 案：多摩地域の図書館長の話聞く企画 (第 3 回)。

・今年度一杯で退職するベテラン司書館長が数人いるので、その方々の話を聞く。図書館の広域連携と共同保存、というようなテーマを設定してお話ししてもらおう。

2 案：国立国会図書館の 2016～2020 の資料デジタル化計画が 3 月 29 日に発表された (別紙参照)。この事について国立国会図書館の人に講師に来てもらい話を聞く。昨年度までの普及の現状と利用の手応え、そして今回発表された計画内容の説明と予測等。

※発表内容は、国立国会図書館 HP>トップ>国立国会図書館について>資料デジタル化についてのところから見られる。 「資料デジタル化基本計画 2016-2020」

http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/digitization/digitization_plan2016.pdf

3案：見学会は、新都立多摩が開館する時期に合わせて、施設見学会を行う（12月～2月）。

→ 協議の結果、事務局提案の方向で準備作業を進めることを了承、開催時期、順番については、講師打診の状況によって考える。

(6) 第6号議案 多摩デポ通信第39号について【報告・協議】

- ・次号は7月中旬発行予定。原稿締切は7/10頃。
- ・通常総会および総会記念講演会の報告（事務局）
- ・総会記念講演会の参加者からの感想・意見
- ・TAMALASの名称決定と、その内容紹介・使用の促しの記事、カーリル定例会の報告
- ・西東京市の除籍資料の他市所蔵の検索ボランティア募集記事？
- ・その他 都立多摩図書館の協力貸出休止に伴う各図書館の状況など
- ・多摩デポ講座予告（案内チラシを同封する）
- ・連載「たま手箱」の既発表分（4回？）の印刷の同封

(7) 情報交換

- ・新都立多摩図書館開館準備の動向と多摩デポの対応について
- ・都立中央図書館のHPに、開館準備の資料移送のため都立多摩図書館が7月から長期休館になるスケジュール等が公表された（6月7日、8日付 別紙参照）。
- ・多摩デポからの意見具申や接触について

【多摩デポ関係記事・論文】

- ・『みんなの図書館』2016年6月号 p56～58 各地のたより 福嶋聡氏講演会「紙の本は、滅びない」第26回多摩デポ講座 報告 東京発 蓑田明子
- ・『智恵の樹』No.202号（2016年5月31日号）町田の図書館活動をすすめる会/発行
巻頭言：「『多摩デポ』と『多摩地域公共図書館蔵書確認システム』」 堀渡

【共同保存図書館関連論文】

特になし

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・読売新聞5月25日 多摩版コラム 週刊たま手箱「震災後多様な地区利用」 蓑田明子
- ・6月は移動図書館に関するコラムの予定(手嶋孝典)

★ 次回の理事会 8月 日（ ） 午後6時半

☆ 次回の事務局会議 日時・場所未定

★ 共同研究定例会（第16回） 6月17日（金）

15時～ 調布市立図書館深大寺分館 除籍作業実証 18時～ 調布市文化会館たづくり 301号室

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事と堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016年6月9日

議長

議事録署名人

議事録署名人